



うさぎの耳

聴くことは社会貢献の第一歩！



第46号(2020年10月1日)
福津市社会福祉協議会内

- ◇ 社協、福津市、包括支援センター等からのお知らせ
社会福祉協議会だより70号に「10分ふれあいコール」が紹介されます。

- ◇ 会からの知らせ

- 1 イオン黄色いレシートキャンペーンは、今年一杯は無理でしょう。ただし毎月11日には、レシートを入れるボックスは用意されていますので、その日に買い物された方はレシートを入れるようにして下さい。
上半期のギフト金額は、5,200円でした。活動内容報告書を10月3日に提出しました。
- 2 癒しの傾聴カフェは、
癒しの傾聴カフェは、9月4日(金)8名参加；10月2日(金)8名参加でした。



- ◇ 9月定例会の話題

- 1 ふれあいコール関連
 - ① 8月の件数は8件でした(回覧参照)。9月の件数は22件でした。
 - ② チラシは、各郷づくりへ配布しました。
 - ③ 9月1日TVQからの取材があり、10日夕方のニュースで放映された。
 - ④ これまでの電話対応所感
 - ・話が新鮮だった。
 - ・10分は短いようだ。
 - ・リピーターを増やす必要がある。
 - ・掛ける方も掛けるまでに決心が要るようだ。
 - ・会員からの電話も良いのでは。
 - ⑤ これまでの事例を使用しての研究会を行います。
これまで受けた事項について、こんな質問をしたら話が発展するのではとの観点から事例を基に具体的に質問内容を例示した。
 - ⑥ 10月23日(金)福岡市東区の社協及び「笑みの会」から、見学が予定されています。
- 2 在宅傾聴者へのふれあいコールへの連絡の可否について。
各担当者から、それぞれの在宅傾聴希望者へ直接チラシを持参し、コールの活動内容を紹介した。
- 3 会員連絡網の改正(配布は後日)
新入会者を追記のため、連絡網を改正します。
- 4 入会者欠席のため、ロールプレイングは10月に行うことにしました。



◇ 会員の広場

夕暮れのネギとホタル

大久保 三保子 会員

春の野山にはヨモギやセリ、ノビル、ツクシが顔を出します。小川ではドジョウやフナ、サワガニ、シジミが捕れました。レンゲ畑には蜜蜂、チョウ。鬼ごっこやかくれんぼなど腹ぺこになるまで五感を使って遊び、花や野草を握りしめて帰ります。

母はにこっと笑って花瓶へ。最近読んだ野草の本に、春野草の苦みは、冬の間私たちの体内に蓄積された老廃物を排出する役目があると書いてありました。確かに春野草は苦いです。

初夏の夕暮れ時は、ホタルをそっと捕まえ、畑の深ネギを一本失敬して容器にしました。数匹入れると、緑の中の点滅は幻想的で、まるでネオンのようです。夕餉の支度をしている母の所へ走ります。「はい、ホタルのお土産」。母は驚き「ありがとう。ネギの入れ物は美しかあ、良く思い付いたね」。その笑顔と夕食の煮物の匂いまでも懐かしく思い出します。

今回豪雨で、ふるさとの河川敷にあった淡いピンクのツクシイバラの群生地はどうなったのでしょうか。球磨盆地には満開時、川風に乗ったオカリナの音色が癒やしを運んでくれていました。一日も早い復興を遠くから祈るばかりです。

(西日本新聞 2020年7月30日 紅皿特集 「土産」 から転載)

利益増 ロスの低下が比例する のぶくに

忘れないゼロへの道に母が居る やすこ

私にも欲しい貴方の充電器 善 教

古里の元気届ける深夜便 海 子

どん尻のバトン持ち手の誇らしげ わ 子

